



最後の学校行事となった。が行われた。これが平成

1トで1年次の宿泊研修
26日(金)にサホロリゾ
4月24日(水)から

宿泊研修
4/24(水)~4/26(金)

清高ミニタイムス

他校との交流

充実の3日間を過ごす

今年の研修では、毎年行われている校歌練習の他、コミュニケーションプログラムが多く組み込まれた。さらにClass si説明会やe-net講話などスマホに関わる説明文が行われた。

退館式では生徒を代表して下谷内悠気君(1D)が「2年生の見学旅行でもこの経験を活かしてがんばります」と挨拶した。ホテルの方は「この経験を活かして、令和でも学業やスポーツを頑張ってほしい」と話した。

初日のコミュニケーションプログラムでは「誕生日エピソード」が行われた。このプログラムはクラスごとに手を繋ぎ知恵の輪のようにぐちゃぐちゃに

誕生日エピソードを行っていきの様子

クラスの仲深まる

なつて担任の先生がそれぞれゲームである。2日目はドッジボールが行われ、C組が優勝した。クラスごとに分かれて男女混合で行い、各々が

クラスの仲良くなるきっかけになった。

1日目と2日目に校歌練習が行われた。2日目に新得町総合体育館で、めい泉川大輔先生が見本の校歌として校歌を歌った。校歌の歌詞の意味が一つ一つ説明され、1番は『清水の風景』、2番は『目標を持って清水高校で頑張る』ということを表している。先生によると、校歌とは「学校の象徴のようなもの」のこと。歌うときのポイントとして「無理して100%で歌うのではなく、70%の綺麗な声で歌うことを心がけるように」と話した。

1日目のClass siの説明会では今年度から1年次に導入されたClass siの機能や使い方、緊急時機能があるため、緊急時には素早く連絡できる。学んだ。Class siの話ではネットの危険性を活用されるところもある。2日目のe-net講しやなりすまし、個人情報保護者や先生が連絡するの記録をすることや学習の動画をみることもできる。

新しい勉強法

副先生は「研修を通して、この年次の特性がよく見えてきました。素直に物事を受け入れられる能力を持ち、その一方で、まだまだだ幼さが見られました。これを契機として一つずつ一緒に学んでいきたい」と思います」と語った。

1日目の校歌練習では、始

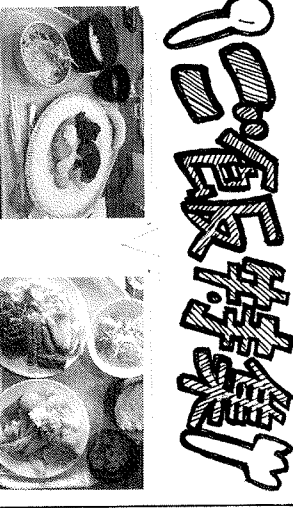


校歌の練習をして様子

校歌は学校の象徴

3日間を通して入学した一人一人が言いたいことを伝えるクラスになった。

感じたかを話し合った。3日目の校歌発表では、2日目の校歌発表では、人それぞれ感じるものがあつたと思う。これから校歌を歌うときは、練習に誇りを持って、練習で教えてもらったことを思い出しながら歌っていき



ご飯の準備

1日の疲れが、森んだ一品

眠気が飛ぶくらいおいしいかんぱん

種類が豊富な夜ごはん

回復したカレーライス!!

S、ゲーム、動画への依存や、人の悪口や誹謗中傷、ブロツクをするなどのネットいじめ、誘い出しやなりすまし、個人情報の危険があることが説明された。それ

取材を終えて、2日目の校歌発表では、

（文責 渡辺モモカ）